

未来につなぐ山造り

木曽森林組合 代表理事組合長

神 村 光 雄



組合員の皆様におかれましては、日

頃より森林組合の業務運営にご理解ご協力を賜っておりますことに厚く感謝申し上げます。

昨年は、森林組合合併十周年の節目の年であります。また新たな気持ちを持って、役・職員一体となり「山造り」を通して地域貢献を果たしていく考えですので、組合員皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

「山造り」の取り組みにつきましては、組合員の皆様の「山造り」はもとより、あらゆる事業に参画し、地域全般の「山造り」を果たすことが組合に与えられた使命であり、期待されていることと理解しております。

その結果、木曽川上流部の森林が元気になり、下流域の皆様方が望んでいる、安心・安全な空気と水を送ることにも繋がるものと思つております。

さて、その「山造り」に対する、我が国の林業施策が「育てる林業」から「利用する林業」へと軸足を変え、それに伴い森林組合をめぐる環境も大きく変化してきました。

間伐作業を例にとりましても「切捨間伐」から「搬出間伐」へとなり、現場では、作業道等の開設、高性能林業機械での作業、

従事する職員の作業内容の多様化といったように、十年前とは比べ物にならない程複雑化しておりますが、それぞれの地域の「山」の将来を考え、「今、やるべきことをしつかりやつていこう」と、各現場で作業を進めているところです。

この林業施策の中で最も重要なものに「森林所有者と経営の委任を結ぶ、森林経営委託契約」と「森林組合が作成する、森林經營計画」があります。森林組合は、一様ではない森林の現状をしつかりと受け止める中で、「未来につなぐ山造り」を目指し、組合員の皆様と一緒に取り組み、安心して任せていただけのようまた期待に応えるべく努力をしていく考えですので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、今回の制度改正のポイントに木材需要の拡大があります。

その意味合いにおいて、木材加工と木質バイオマスエネルギー利用が併設された施設が、塩尻市において稼働する情報がありますが大変注目しており、需要拡大に繋がることを期待しております。結びに当たり、当地域の森林を十分把握しているのは森林組合だと自負しておりますので、組合員の皆様、また地域の皆様、さらには行政機関関係者と一体となって「山造り」に取り組み、地域からの負託に応えられるように努めてまいる所存ですので、組合員の皆様には、今後一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願ひ申し上げると共に、益々のご健勝ご多幸をご祈念申し上げ挨拶と致します。

第11回 通常総代会の開催

平成二十五年度第十一回通

常総代会を五月二十四日木曾

町福島会館において、総代
一六六名（本人出席七十五

名、書面九十一名）の出席の

もと開催しました。

議長に、木祖村の唐澤達夫
氏を選出し、平成二十四年度
事業報告等、提出された八議
案が審議され、原案通り可決
承認されました。

ご来賓の木曾森林管理署長
高嶋伸二様、木曾地方事務所
林務課鳥獣対策専門員平林昌
寿様、長野県森林組合連合会
常務理事滝澤栄智様よりご祝
辞を頂きました。



平成24年度決算 平成25年度計画

(単位：千円)

部 門	24年度計画		24年度決算		達成率	25年度計画	
	取扱高	損益	取扱高	損益		取扱高	損益
指導	1,000	△1,100	3,529	△222	353%	2,000	△100
販売	85,000	36,900	90,334	42,298	106%	124,000	48,200
森林整備	126,500	68,500	134,405	66,190	106%	130,000	68,000
利 用	55,100	10,830	83,075	11,385	151%	126,600	10,330
福利厚生	0	0	0	0		0	0
購 買	9,000	1,800	8,621	1,389	96%	9,000	1,800
金 融	0	0	0	0		0	0
森林整備部門計	190,600	81,130	226,101	78,964	119%	265,600	80,130
事業取扱高	276,600		319,964		116%	391,600	
事業総利益		116,930		121,040	104%		128,230
一般管理費		116,800		115,833	99%		127,600
事業外損益		200		857	429%		200
経常利益		330		6,064	1838%		830
特別損益		△132		△2,299			△332
当期純利益		198		3,765	1902%		498
前期繰越剰余金		10,168		10,168			9,933
当期末処分剰余金		10,366		13,933			10,431

平成24年度 剰余金処分案

(単位：円)

科 目	積 算 内 訳	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金				13,932,579
II 剰余金処分類				
1 法定準備金	当期剰余金の 5分の1以上		2,000,000	
2 任意積立金 (損失補填積立金)			2,000,000	
III 次期繰越剰余金				9,932,579

脚注：次期繰越剰余金中教育情報資金は300,000円である。